

自己点検・評価表 (ISO 29990 対応版 Ver. 3.0)

実施日: 令和 6年 6月 30日

学校名: 情報科学専門学校

1. 学校の教育目標

(1) 高度な技術力の修得

卒業後、社会に貢献できる実践的な技術を最新のニーズに対応して習得させる

(2) 文章作成能力の育成

高度IT社会で重要となる明快で豊かな国語力を日々の授業を通して育成する

(3) 豊かな人間性の涵養

感動ある学生生活を通じて礼儀・感謝する気持ちを備えた豊かな人間性を涵養する

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

目標	方策
「楽しい」や「ワクワク」をつくり集いたくなる居場所の実現	<ul style="list-style-type: none">外部連携学外への情報発信力の強化学園他校（横浜デジタルアーツ専門学校等）との連携
時代に対応した学科戦略の見直し	<ul style="list-style-type: none">ゲームエンタメ分野の強化学科グループの設置（目標値設定、戦略的なカリキュラム策定）学科の魅力の見直しと発信

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
1	1	理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 ③ 2 1	入学案内パンフレット
1	2	学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4 ③ 2 1	職業実践専門課程様式4 教育課程編成委員会議事録
1	3	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1	入学案内パンフレット 学校ホームページ
1	4	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4 ③ 2 1	入学案内パンフレット
1	5	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4 3 ② 1	入学案内パンフレット 学校ホームページ

① 課題

- ・学校の教育理念や目的、育成人材像は開学以来、明確に示されているが、生徒や保護者への周知については、十分理解され浸透するには至っていない。

② 今後の改善方策

- ・学科リーダーを設置し学科別で育成人材像とそこに到達するまでのロードマップを定め、日々の授業にも反映する。
- ・学生が卒業する数年後を見据え、ロードマップやカリキュラムを策定する。

③ 特記事項

2 学校運営			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
2	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4 ③ 2 1	職業実践専門課程の様式 4
2	2	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1	組織図と会議体制
2	3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 ③ 2 1	組織図と会議体制
2	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1	令和6年度業務計画キックオフ資料
2	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1	業務グループ別年度計画
2	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	4 ③ 2 1	人事・給与規定
2	7	専任教員は適正に配置されているか(専任教員や非常勤講師の適当たりの担当コマ数などの講義・実習負担は妥当であるか)	4 ③ 2 1	令和6年度 担当割・教室割
2	8	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4 ③ 2 1	非常勤 g-mail アドレス一覧 非常勤講師出勤簿
2	9	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1	就業規則、問合せ窓口の 情報
2	10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1	職業実践専門課程様式 4 学校 SNS
2	11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1	Garoon、スタログ、 iポータル
2	12	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4 ③ 2 1	業務GL会議資料 業務GL会議議事録
2	13	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	4 ③ 2 1	学校関係者評価会議事録 担任会議議事録
2	14	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4 3 ② 1	各クラス単位の Slack の 設置

① 課題

- ・学生数増加に伴う教員不足と教員各々の能力の差により担当コマ数の負担は差異が生じている。
- ・産学連携案件などで学外の関係者と意見の相違があった際に、担当者以外に相談するところがない。

② 今後の改善方策

- ・エージェントや人脈を活用した教員(常勤、非常勤)の積極採用。
- ・産学連携案件の整理と共有

③ 特記事項

3 教育活動		優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
3	1	4 ③ 2 1	職業実践専門課程の様式 4
3	2	4 ③ 2 1	文科省プロジェクト成果物
3	3	4 ③ 2 1	年間学習フレーム学習ガイド
3	4	4 ③ 2 1	教育課程編成委員会議事録
3	5	4 ③ 2 1	年間学習フレーム資格対策科目学習ガイド
3	6	4 ③ 2 1	学習ガイド
3	7	4 ③ 2 1	学習ガイド 学習ガイド作成の手引き
3	8	4 ③ 2 1	職業実践専門課程の様式 3、様式 4
3	9	4 ③ 2 1	学習ガイド 授業アンケート結果
3	10	4 ③ 2 1	年間学習フレーム
3	11	4 ③ 2 1	教育課程編成委員会議事録
3	12	4 ③ 2 1	個人情報保護規則 情報モラル基礎
3	13	4 ③ 2 1	職業実践専門課程の様式 4、学習ガイド
3	14	4 ③ 2 1	教育課程編成委員会議事録
3	15	4 ③ 2 1	共有フォルダへのアクセス権設定
3	16	4 3 ③ 1	ホームページ(中途採用情報)

① 課題

- ・就職活動の早期化が進み特に 2 年制学科のカリキュラムはスケジュールを見直す必要がある。
- ・将来的に実践 AI 科や先端 IT システム科など先進教育分野について、人材確保・人材育成に困難が見込まれる。

② 今後の改善方策

- ・就職活動の早期化については、就職に関連する科目のカリキュラムの見直しの他、資格対策やインターン参加など全体スケジュールも再検討する。
- ・教員個人の採用だけでなく、法人との教育コンテンツの連携も含めて広く検討する。

③ 特記事項

4 学修成果			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
4	1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか(iCD のタスクと関連付けて明確にした到達目標やその目標達成のためのカリキュラムが妥当であるか)	4 ③ 2 1	スタログ、学習ガイド
4	2	目標とする資格試験への合格率はどうか	4 ③ 2 1	入学案内パンフレット 職業実践専門課程の様式 4
4	3	卒業生の就職率はどの程度か	4 ③ 2 1	入学案内パンフレット 職業実践専門課程の様式 4
4	4	退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1	職業実践専門課程の様式 4
4	5	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)	4 3 ② 1	就職先アンケート 卒業生交流会実施要項
4	6	評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	4 ③ 2 1	学習ガイド
4	7	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4 ③ 2 1	職業実践専門課程の様式 4 人事考課の手引き
4	8	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4 ③ 2 1	成績証明書 卒業証書
4	9	ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4 ③ 2 1	令和 6 年度第 1 回経営 会議資料
4	10	学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4 ③ 2 1	各社教育連携協定書
4	11	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1	就職先アンケート実施レ ビュー

① 課題

- ・卒業した学生の企業での動向についての把握が難しい。
- ・同業種で要職に就いてる卒業生も多い事から、企業間での横の繋がりも期待したい。

② 今後の改善方策

- ・コロナ禍で実施できなかった卒業生との交流会を再開する。
- ・学園の情報発信や事務の IT 化を進め、卒業生との接点を増やす。

③ 特記事項

5 学生支援			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1			エビデンス(文書番号)	
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	③	2	1	就職準備講座学習ガイド 組織図
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1	学生生活の手引き 学内カウンセラーについて
5	3	保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1	保護者宛発送文書 保護者ガイダンス資料
5	4	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1	入学案内パンフレット (ITライセンス科)
5	5	卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1	卒業後の就職支援
5	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	③	2	1	学生生活の手引き 快適な学園生活のために
5	7	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1	学生募集要項 岩崎ともみ奨学財団募集要項
5	8	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1	健康診断実施要領
5	9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1	クラブ活動一覧 インターンシップ・コンテスト報告 会実施要領
5	10	学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1	学内カウンセラーについて 学生カルテ
5	11	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	②	1	高専連携講座契約書

① 課題

- ・コロナ禍で高校等との連携したキャリア教育・職業教育のとりくみの開催が困難であったため、コロナ禍前に比べると活動が縮小している。
- ・インターンやコンテストについても同様に参加する機会が減少している。

② 今後の改善方策

- ・コロナ禍依然の対面での活動を取り戻し、コロナ禍以前よりも積極的に取り組んでいく。

③ 特記事項

6 教育環境		優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・ 1	エビデンス(文書番号)
6	1	4 ③ 2 1	令和6年度担当割・教室割
6	2	4 ③ 2 1	MS、シマンテックのサイトライセンス
6	3	4 ③ 2 1	備品管理台帳
6	4	4 ③ 2 1	令和6年度担当割・教室割
6	5	4 ③ 2 1	避難訓練実施要領 防犯訓練実施要領
6	6	4 ③ 2 1	防災組織図
6	7	4 ③ 2 1	インターンシップ・コンテスト報告 会実施要領

① 課題

- ・コロナが解消され一斉登校、対面授業になったことで、部分的に環境整備が追いついていないところがある。

② 今後の改善方策

- ・一斉登校によって不足する設備、環境については早急に是正する。

③ 特記事項

- ・教室の不足については、年度開始前に増床し対応した。

7 学生の受入れ募集			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか)	4 ③ 2 1	学生募集要項
7	2	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4 ③ 2 1	学生募集要項
7	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4 ③ 2 1	学生募集要項
7	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4 ③ 2 1	学生募集要項
7	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1	入学案内パンフレット
7	6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4 ③ 2 1	学生生活の手引き
7	7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4 ③ 2 1	見学者からの問合せ記録
7	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4 ③ 2 1	学生生活の手引き 個人情報保護規定
7	9	学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1	学生募集要項

① 課題

- ・学科ごとの特徴や魅力をより明確に発信していきたい。

② 今後の改善方策

- ・高校生に馴染みやすい動画や SNS を活用した情報発信をしていく。
- ・学校の認知向上のため、社会人向けの教育訓練等を検討したい。

③ 特記事項

8 財務			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
8	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4 ③ 2 1	独立監査人の監査報告書 (令和5年度)
8	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4 ③ 2 1	ホームページ
8	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ③ 2 1	平成30～令和5年度決算書
8	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1	平成30～令和5年度予算書

① 課題

- ・特になし

② 今後の改善方策

- ・特になし

③ 特記事項

- ・現状財務基盤は安定しており、継続的な学校運営に問題ない状況である

9 法令等の遵守			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
9	1	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1	学生生活の手引き
9	2	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 ③ 2 1	学則・職業実践専門課程様式
9	3	文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	4 ③ 2 1	Garoon・スタログ
9	4	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	4 ③ 2 1	自己点検評価表 経営管理委員会議事録
9	5	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4 ③ 2 1	経営管理委員会議事録

① 課題

- ・特になし

② 今後の改善方策

- ・個人情報の扱いやコンプライアンスなど教職員の研修を適宜行う。

③ 特記事項

10 社会貢献・地域貢献			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1	高校生セキュリティコンテスト実施要項 県高校教科研究会事例 報告会会場
10	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1	市内商店街ホームページ 作成
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1	専門実践教育訓練講座 指定等通知書

① 課題

- ・コロナ禍により学外活動の制約があったが、今年度は解消され活動を再開していきたい。

② 今後の改善方策

- ・コロナ禍前に活動していた小中学校への支援など地域貢献活動をすすめていく。
- ・市内の放課後児童クラブ(学童)へのプログラミング教室の実施など積極的に取り組んでいく。

③ 特記事項

11 国際交流(必要に応じて)			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
11	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 ③ 2 1	留学生学生募集要項
11	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 ③ 2 1	留学生学生募集要項
11	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 ③ 2 1	留学生学生募集要項
11	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 ③ 2 1	留学生学生募集要項

① 課題

- ・近年、入学を希望する留学生がおらず、留学生の在籍数は0名となっている

② 今後の改善方策

- ・コロナ禍で国際交流が制限されていたが、今後の動向を把握し留学生の受け入れも検討していく。

④ 特記事項